

ウイルス対策および Windows Update に関するポリシー

日本語

概要

⚠ 警告

使用しているブレインラボ製システムが目的どおりに動作し、認定や承認の範囲から逸脱しないよう、ブレインラボでは Windows Updates やウイルス対策ソフトウェアについて以下のガイドラインに従うことを推奨します。本ポリシーは以下の製品に適用されます。

- ブレインラボ製プランニングシステム (患者の治療時は不使用)
- ブレインラボ製ナビゲーションシステムおよび位置決めシステム (患者の治療時に使用)

Windows Updates:

ブレインラボ製システムは、ローカルの Group Policy 設定において、次のとおりデフォルト設定されています。ブレインラボ製ソフトウェアをインストールしているサーバー上で Windows Group Policy 設定を使用している場合は構成を変えないでください。

Microsoft Security Updates プログラムのみをインストールしてください。Monthly Rollups と Security-only Updates のどちらも許可されています。サービスパックやオプションの更新プログラムはインストールしないでください。サービスパックの試験およびリリースは規制により、医療機器の製造販売業者または製造業者が行うことが求められています。病院ドメインにブレインラボのシステムを追加する場合は以下の設定が有効であることを確認してください。

患者の治療中に更新プログラムのインストールをしないでください。

ドライバーの更新

ブレインラボ製プラットフォームでドライバーの更新はしないでください。

ブレインラボ製プラットフォーム上のドライバーの更新にマニュアルセットアップや Windows Update は使用しないでください。このポリシーは Group Policy 設定で設定されているため、変更はしないでください。

ウイルス対策

ブレインラボでは、最新のウイルス対策ソフトウェアでシステムを保護することを推奨します。ウイルス対策ソフトウェアの初回インストール後、ブレインラボのサービスエンジニアによるシステムパフォーマンスの検証が必要です。一部のマルウェア保護ソフトウェア (ウイルススキャナーなど) の設定により、システムのパフォーマンスが低下する場合がありますのでご注意ください。たとえば、リアルタイムスキャンが行われ、個々のファイルアクセスが監視されると、患者データへのアクセスが制限される場合があります。最善策:

- 不要なウイルス対策機能 (ブラウザや email のスキャナー、追加のファイアウォールなど) を無効にする
- ウイルス対策ソフトウェアのポップアップメッセージを無効にする

以下の場所がスキャンされ、変更されることのないよう、(例外フォルダーに追加するなどして) ウイルス対策ソフトウェアを設定します。

- C:\Brainlab、D:\Brainlab、および F:\Brainlab など
- C:\PatientData、D:\PatientData、および F:\PatientData など

プランニングシステムの場合 (iPlan RT インストールの場合を除く): 上記の例外フォルダーを正しく設定した状態で、オンアクセス/リアルタイムスキャンを永続的に有効にします。

iPlan RT やナビゲーションシステム、位置決めシステムの場合: オンアクセス/リアルタイムスキャンを無効にします。システムのシャットダウン時や病院の診療時間外にオンデマンド/スケジュールスキャンが実行されるように計画します。



追加情報

本ポリシーは過去および現在のあらゆる製品ドキュメントに優先されます。詳細については、ブレインラボのカスタマーサポートにお問い合わせください。

Windows Updates、Drivers Updates、サーバー、ウイルス対策ソフトウェアや特定のバグに対する Group Policy 設定に関する情報、またはブレインラボのサポート部門がブロックしている Microsoft Security Updates のリストを確認したい場合、以下のログイン情報を使用してください。

アドレス: <https://www.brainlab.com/updates>
パスワード: WindowsUpdates189

マーク

	警告
	製造業者

